

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【公表番号】特表2015-500883(P2015-500883A)

【公表日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-548851(P2014-548851)

【国際特許分類】

C 0 7 D	231/20	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	5/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	27/12	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/415	(2006.01)

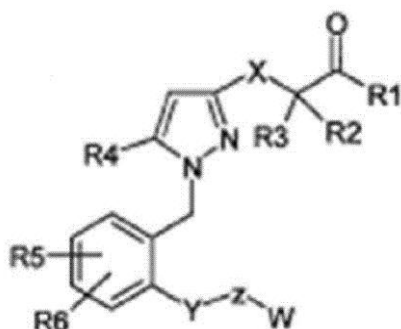
【 F I 】

C 0 7 D	231/20	C S P Z
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	27/02	

A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	5/24	
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	27/12	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 K	31/415	

【手続補正書】**【提出日】**平成27年12月21日(2015.12.21)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**一般式：

【化 1】



を有し、

式中、XはO、S、又はN R_7 であり；

Yは(C H_2) $_n$ であって、nは0又は1～3の整数であり；

ZはO、S、SO、SO $_2$ 、又は(C H_2) $_m$ であって、mは、0又は1～3の整数であり；

Wはヒドロカルビル又は置換ヒドロカルビルであり；

R $_1$ は、OR $_7$ 、N(R $_7$) $_2$ 、及びN(R $_7$)SO $_2$ R $_7$ から成る群から選択され；

R $_2$ 及びR $_3$ は独立に、H及びアルキルから成る群から選択され、R $_2$ 及びR $_3$ は、互いに結合してシクロアルキル環を形成してもよく；

R $_4$ は、H、アルキル、及びハロゲン置換アルキルから成る群から選択され；

R $_5$ は、H、ヒドロキシル、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールオキシ、ハロゲン、ニトロ、アミノ、シアノ、並びに、ヒドロキシ、ハロゲン、ニトロ、アミノ及びシアノで置換された、アルキル、アリール、アルコキシ、又はアリールオキシから成る群から選択され；

R $_6$ は、H、ヒドロキシ、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールオキシ、ハロゲン、ニトロ、アミノ、シアノ、並びに、ヒドロキシ、ハロゲン、ニトロ、アミノ及びシアノで置換された、アルキル、アリール、アルコキシ、又はアリールオキシから成る群から選択され；且つ

R $_7$ は、H、ヒドロカルビル及び置換ヒドロカルビルから成る群から選択される化合物、または薬理学的に許容されるその塩。

【請求項 2】

R $_1$ がOHである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R $_2$ 及びR $_3$ がHである、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R $_4$ が、H、アルキル、及びフッ素置換アルキルから成る群から選択される、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 5】

R $_5$ が、フルオロ、クロロ、ブロモ、アルキル、アリール、アルコキシ、並びに、フッ素置換された、アルキル及びアルコキシから成る群から選択される、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

R $_6$ が、H、フルオロ、クロロ、ブロモ、アルキル、アリール、アルコキシ、並びに、フッ素置換された、アルキル及びアルコキシから成る群から選択される、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 7】

R $_7$ がH、アルキル及び炭素環式アリールから成る群から選択される、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 8】

XがOである、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 9】

Y が存在しない、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 10】

Z が O である、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 11】

W が、分岐鎖アルキル及び炭素環式アリールから成る群から選択される、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 12】

前記化合物が、

{ 1 - [5 - クロロ - 2 - (2 - エチル - ブトキシ) - ベンジル] - 5 - メチル - 1 H - ピラゾール - 3 - イルオキシ } - 酢酸、

{ 1 - [5 - クロロ - 2 - (4 - クロロ - ベンジルオキシ) - ベンジル] - 5 - メチル - 1 H - ピラゾール - 3 - イルオキシ } - 酢酸、

{ 1 - [5 - ブロモ - 2 - (2 - エチル - ブトキシ) - ベンジル] - 5 - メチル - 1 H - ピラゾール - 3 - イルオキシ } - 酢酸、及び

{ 1 - (5 - クロロ - 2 - イソブトキシ - ベンジル) - 5 - メチル - 1 H - ピラゾール - 3 - イルオキシ } - 酢酸、

から成る群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の化合物または薬理学的に許容されるその塩を含む、医薬組成物。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の化合物または薬理学的に許容されるその塩を含む、DP1、FP、EP1、TP 及び / 若しくは EP4 受容体により媒介される疾患又は状態を治療するための医薬組成物。

【請求項 15】

前記 DP1、FP、EP1、TP 及び / 若しくは EP4 受容体により媒介される状態又は疾患が、アレルギー状態、喘息、アレルギー性喘息、アレルギー性鼻炎、ぶどう膜炎及び関連する障害、アテローム性動脈硬化症、血液凝固障害、骨障害、がん、細胞の腫瘍性転化、慢性閉塞性肺疾患及び肺炎のその他の形態、うっ血性心不全、糖尿病性網膜症、抗凝血治療を必要とする疾患又は状態、骨形成と吸収の制御を必要とする疾患、受胎障害、脱疽、緑内障、異常高熱、免疫及び自己免疫疾患、炎症状態、転移性 (m e t a s t i c) 腫瘍成長、偏頭痛、粘液分泌障害、鼻閉、鼻炎、閉塞性血管疾患、高眼圧症、低眼圧症、骨粗鬆症、リウマチ性関節炎、疼痛、通年性鼻炎、肺うっ血、肺性低血圧、レイノー病、臓器移植及びバイパス手術における拒絶反応、呼吸状態、多毛、鼻漏、ショック、睡眠障害、並びに睡眠覚醒周期障害から成る群から選択される、請求項 14 に記載の医薬組成物。